

主催：(一財)岡山セラミックス技術振興財団

共催：日本セラミックス協会・耐火物技術協会中国四国支部、株式会社エヌジェーエス
エス・エス・アロイ株式会社、株式会社シンターランド、

第3回 焼結技術セミナー SPSを中心に

製造プロセス研究会の一環として、放電プラズマ焼結（SPS：Spark Plasma Sintering）を中心に次世代技術といわれるフラッシュ・シンタリングなど焼結技術の現状について情報提供することで耐火物並びにセラミックス産業の焼結技術の高度化に貢献するためのセミナーを開催します。関係各位多数の御参加をお待ちしています。

日時

平成29年3月10日（金） 12：45～17：05

会場

岡山セラミックスセンター セミナー室
備前市西片上 1406 番地 18

定員

50名

受講料

無料

申込方法

別紙の申込書に参加者氏名や事前質問事項など必要事項を御記入の上、**FAXかメール**にてご送信ください。

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 担当：川端裕美（かわばた）
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227
Email： erazoku@optic.or.jp

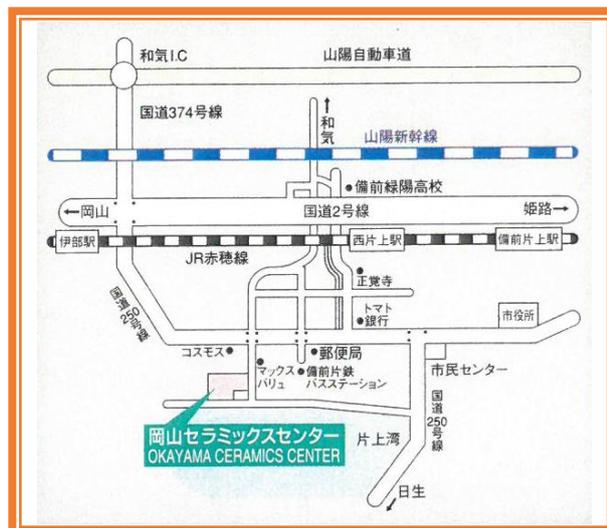
申込〆切

平成29年3月3日（金）

アクセス

JR岡山駅から 約30km

- ・JR赤穂線で45分 西片上駅下車
徒歩約8分
- ・車で約1時間



プログラム

時 間	項目／概要
12:45-12:50	開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉 鷹 啓
12:50-13:50	<p>「放電プラズマ焼結 (SPS) 技術の歩みと最近の技術動向 — 産業界へ広がる “素材からモノづくりを変える” —</p> <p>株式会社エヌジェーエス 専務取締役 梶 田 正 雄 (工博)</p> <p>【概要】 SPS技術の原型は、1960年代初頭に日本のジャパックス社より“パルス状大電流を粉末固化に応用する”という思想に基づき発明された純国産技術の放電焼結加工法である。今日SPS法は省エネ・環境低負荷型・迅速・反応性焼結・電磁エネルギー支援などを特徴とする新しい材料合成技術として注目されている。SPSの原理と応用、これまでの技術進化、セラミックス/金属系複合材料、産業用新材料実用製品化例、次世代焼結技術などを紹介する。</p>
13:50-13:55	休憩
13:55-14:55	<p>「通電熱加工技術の紹介」 エス・エス・アロイ株式会社 代表取締役 菊 池 光太郎</p> <p>【概要】 通電加工技術に、動的加工機構を付与した研究開発の実施内容について御紹介します。</p>
14:55-15:00	休憩
15:00-16:00	<p>「SPS法の原理と応用およびSPS装置の紹介」 株式会社シンターランド 専務取締役 佐 藤 智 宏</p> <p>【概要】 放電プラズマ焼結(SPS)法は、パルス通電加圧焼結法、プラズマ活性化焼結法、通電加圧焼結法などさまざまな名称で知られる新材料創製技術です。SPS法の原理と適用分野例および研究開発用途から量産設備など、各種SPS装置について紹介致します。</p>
16:00-16:05	
16:05-17:05	<p>「フラッシュ・シンタリング技術によるセラミックスの焼結」 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点 外場制御焼結グループ 主幹研究員 吉 田 英 弘</p> <p>【概要】 フラッシュ・シンタリングは、2010年に報告された新しい通電焼結技術の一つであり、従来技術よりも低温・短時間の焼結手法として最近注目を集めています。フラッシュ・シンタリングの特徴と、それを用いた各種セラミックスの焼結緻密化に関して紹介し、実用化の可能性について考えます。</p>
17:05	閉会

第3回 焼結技術セミナー SPSを中心に 参加申込書

平成 29 年 月 日

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 御中

〒
住 所

会社名

申込者氏名

TEL
E-mail

FAX

以下のとおり参加申し込みます。

参加者氏名

氏 名	所属、役職	備考

講義の中でお聞きになりたいこと、質問事項など(講師へ事前に伝達いたします。)

企業名	質問事項